

仙北市内の 農山間部の活性化について

武藤 耕三 議員



要かと思う。それをもとに目指す仙北市の子ども像を設定し、子ども育成に気風を盛り上げて行きたいと思っっている。家庭、学校、地域と互に切磋琢磨しながら連携を深め取り組んで行きたい。

市民に協力を得られる行政サービスについて

質問 行政サービスの原則は、適切、且つ迅速でなければならぬ。市民の為の行政、どのようにして協力を得られるかお伺いしたい。

市長 行政に住民参加は不可欠であり、協力をいいただき財政負担の軽減等行う内容を理解、協力を得られるかが今後の課題と思っっている。

**市立病院の
管理運営について**

質問 合併により二箇所の市立病院の管理運営をどのようにして行くのかお伺いしたい。

市長 合併協議会において新市に引き継ぎ、当面の間

質問 農山間部の多くの市民は、合併による期待感とは裏腹に過疎化が進むのではないかと不安感を持っていてお伺いしたい。

市長 仙北市全体の均衡ある発展をと、すべてに目の届く姿勢で心掛け、仙北市全般の事業、農山間部の活性化を含めた新市建設計画に添って進めて行きたいと思っっている。

質問 仙北市の教育の充実と未来に結びつく家庭教育、学校、地域との一貫性を求められるが施策についてお伺いしたい。

教育長 仙北市の子供達は未来を担う地域の宝物と思っっている。家庭、学校、社会教育の一貫性については、全市を力バーする教育の指標が必

現状のまま運営をする。病院事業の会計については地方公営企業法が全面適用となり両病院共、統一しており、一款田沢湖病院、二款を角館総合病院として会計処理している。

今後については、急性型病院、療養型病院なども、ひとつの考え方であると思う。

当市、又は周辺の地域の人口、高齢化率等含め市立病院の役割分担をどのようにして行くべきか、方向が出てくると言える。

仙北市の財政状況と 建設事業について

高久 昭二 議員



質問 仙北市の財政状況と建設事業についてお訪ねしたい。

今後の市の財政状況は厳しいものがあると思うが、十月末の財政出納状況はどうなっ



2つの市立病院管理運営はようになる？

市長 当該事業での住民説明会は六回程行なつて来た。事業内容変後も四回開催している。今後も地元の理解が得られるようして行きたい。

質問 アロマ田沢湖に対し、旧田沢湖町が無利子で貸し付けている五千万円が不良債権となる心配がないか。

市長 平成十三年九月に経営支援のため、アロマ田沢湖に五千万円、無利子貸し付けがされている。当該資金は据え置き期間を設定、平成十九年九月から償還が行なわれる事となつており、現時点では不良債権云々を申し上げる段階ではない。

質問 旧田沢湖町での基金運用において、指定金融機関からの「一時借入れ」の際に、基金の定期貯金を担保提供した事例があるかと聞いたが事実か。又、現時点では全て精算されているのか。

市長 財政というのは十月末は取らえるものではない。財政状況的に取らえても、一時借入れもなく、資金繰りのショートは起こしていない。

質問 まちづくり交付金事業ではこれ迄駅東地区住民に十分説明責任が果たされているのか。

市長 旧田沢湖町では担保提供により利率が十分の一低額になる事から確かに基金を担保にして一時借入れをしていた。基金は「最も確実かつ有利な方法で保管する」と言う事から、財政上有利とは言え、今後の運用方法では十分検討して取り組みたい。又、